

令和5年度 近江八幡市学校図書館教育方針

別添1

第2期近江八幡市教育大綱

基本理念	「子ども」が輝き 「人」が学び合い ふるさとに愛着と誇りを持ち 躍動する 元気なまち 近江八幡 ～元気と笑顔の合言葉 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」～	施策①	自ら学び、考え、協働できる「学ぶ力」の育成
		施策⑮	家庭における生活習慣、学習・読書の定着と地域の力を生かした学びの充実
		施策⑲	読書活動の推進と読書環境の充実

めざす 子どもの姿（大切にしたい4つの読書活動）

- ・本に関わる経験を積み重ね、日常的な読書習慣を身につける。（続ける読書）
- ・本や資料を活用して、知りたいこと・調べたいことを主体的に解決しようとする。（学べる読書）
- ・本を通じて人や社会・地域とつながろうとする。（つながる読書）
- ・本や読書活動を通じて豊かな感性・想像力・表現力が育つ。（心あそばせる読書）

めざす学校図書館

読書センターとして	学習・情報センターとして	心の居場所として
<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもてる本がある。 ・読書の楽しさを知ることができる。 ・読書活動を広げ深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な本があり、子どもの主体的な学習を支援できる。 ・図書館や情報資料の活用方法を指導できる。 ・学習に必要な図書資料を提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも人が存在し、子どもの心を癒やす温かい雰囲気、落ち着いた雰囲気がある。

本市の学校図書館の課題

- ・「学習・情報センター」として、調べ学習等に使う書籍がまだ不十分であり、学校図書館、学校司書を利活用した実践につながっていない。
- ・子どもの対応や生徒指導上の課題があるため、毎日の開館ができていない学校がある。
- ・分類・配架・ラベルの形式など学校独自で行ってきたため、学校間で統一できていない。

本市の子どもの実態

- ・全国学力・学習状況調査、学校教育課実施の生活習慣アンケート、第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画の子どもの読書活動に関するアンケート調査では、小・中学校ともに読書率は低く、年齢が上がるにつれ、読書時間が減少している。
- ・全国学力・学習状況調査の結果、条件に合わせて記述する表現力と読解力に課題がある。

各校における取組の重点

- ・本市学校図書館教育方針を基にした各校の図書館教育全体計画の作成と組織的な運営の実施
- ・読書への興味関心を広げるための活動の充実
- ・学校図書館、学校司書を利活用した授業の推進
- ・払い出し、登録の定期的な実施および新しい図書のスピーディな配架

各課の事業や取組

学校教育課	(学校司書配置) 小学校・中学校への学校司書の派遣、学校司書に対する研修の実施、学校図書館運営に対する点検・指導・助言	
生涯学習課	地域学校協働活動推進員の配置、「家読(うちどく)」の啓発 地域学校協働活動推進員による図書ボランティアの依頼	
教育総務課	学校図書管理システム・学校図書の整備(選書は学校)	
近江八幡・安土図書館	団体貸し出し、ブックトーク、教員や学校司書に対する研修支援、移動図書館 社会科見学受け入れ(小学校)、職場体験受け入れ(中学校)	
期待される効果	読書への興味関心が高まる。	さまざまな価値観に触れることができる。
	学習への図書情報の活用力が向上する。	想像力や共感性が育つ。
	思考力・判断力・語彙力・表現力が向上する。	心が安定する。